落石対策工の設計法と計算例「正誤表」追加分 (2020年3月1日現在)

章	page 行	誤						正						
	p.2	表-1.2.1 主な落石災害例 ⁵⁾						表-1.2.1 主な落石災害 <mark>例 ^{5) に追記}</mark>						
		No 名称 位置	発生年月日 地質	落石タイプ	規模	被害状況	No	名称	位置	発生年月日	地質	落石タイプ	プ規模	被害状況
		国道33号 1 別子口 高知県仁淀川	秩父帯 打 1979/02/07 石灰岩	浮石型	42m3(11個) 最大9m3	国道33号被害軽微		国道33号 1 別子口	高知県仁淀川町	1979/02/07	秩父帯 石灰岩	浮石型	42m3(11個) 最大9m3	国道33号被害軽微
		国道32号 2 板木野 高知県大豊町	秩父帯 1985/12/06 チャート	浮石型	250m3(多数) 最大1m3	国道32号被害軽微		国道32号 2 板木野	高知県大豊町	1985/12/06	秩父帯		250m3(多数) 最大 1 m3	国道32号被害軽微
		県道 3 東洋安田線 高知県北川村	四万十帯 1988/08/11 砂岩	転石型	1t	軽トラ衝突、1名死亡、1名重 傷		県道 3 東洋安田線	高知県北川村	1988/08/11	四万十帯 砂岩	転石型	1t	軽トラ衝突、1名死亡、1名重 傷
		国道11号 德島県鳴門市	和泉層群 1990/10/08 砂岩	浮石型	最大1.4t(6個)	3名死亡(バスの乗員・乗客		国道11号 4 鳴門	徳島県鳴門市	1990/10/08	和泉層群	浮石型	最大1.4t(6個)	3名死亡(バスの乗員・乗客
		JR山田線 5 腹帯・茂市間 岩手県宮古市	1991/02/16 チャート	浮石型	16t	防護柵破損		JR山田線 5 腹帯・茂市間	岩手県宮古市	1991/02/16	チャート	浮石型	16t	防護柵破損
第1章		JR飯田線湯谷温 6 泉•三河槇原間 愛知県新城市	1992/11/10 流紋岩	浮石型	6×5×4m	列車30本運休		JR飯田線湯谷温 6 泉·三河槇原間	愛知県新城市	1992/11/10	流紋岩	浮石型	6×5×4m	列車30本運休
	表-1.2.1	県道 7 東洋安田線 高知県北川村	四万十帯 1996/03/02 砂岩	浮石型	10t	乗用車衝突1名死亡		県道 7 東洋安田線	高知県北川村	1996/03/02	四万十帯 砂岩	浮石型	10t	乗用車衝突1名死亡
		JR高山線 8 焼石・下呂間 岐阜県下呂町	1996/06/25 流紋岩	転石型	最大60t (6個以上)	特急列車脱線16名負傷		JR高山線 8 焼石・下呂間	岐阜県下呂町	1996/06/25	流紋岩	転石型	最大60t (6個以上)	特急列車脱線16名負傷
		国道32号 9 大歩危 徳島県三好市	三波川帯 2000/01/30 泥質片岩	浮石型	1.9t	β方護柵・3里物破計員		国道32号 9 大歩危	徳島県三好市	2000/01/30	三波川帯 泥質片岩	浮石型	1.9t	防護柵・建物破損
		小豆島 10 皇路山 香川県土庄町	2001/05/25 安山岩	浮石型	1.8×0.8× 0.7m	被害なし(住宅近くで停止)	1	小豆島 0 皇踏山	香川県土庄町	2001/05/25	安山岩	浮石型	1.8 × 0.8 × 0.7m	被害なし(住宅近くで停止)
		国道279号 11 大間 青森県風間浦	寸 2003/05/01 溶結凝灰岩	: 浮石型	6×4×3.5m	防護柵・電柱破損		国道279号	青森県風間浦村	2003/05/01	溶結凝灰岩	浮石型	6 × 4 × 3.5 m	防護柵·電柱破損
		JR津山線	2006/11/19 花崗岩	浮石型	5×4.8×1.8m (7個以上)	列車脱線		JR津山線 2 玉柏·牧山間	岡山県岡山市	2006/11/19	花崗岩	浮石型	5×4.8×1.8m (7個以上)	列車脱線
		富士山	市 2009/07/13 玄武岩溶岩		0.4m3	キャンピングカー衝突1名死亡		富士山 3 新五合目	静岡県富士宮市				0.4m3	キャンピングカー衝突1名死亡
		国道33号 高知県越知町	秩父帯 2010/08/16 砂岩	浮石型		防護柵破損		国道33号 4 裁知	高知県越知町	2010/08/16	秩父帯			防護柵破損
			2010/00/10	/ * ****	/ ^0./ ^0M	[M308(4)) 4X134	1	県道7号 5 浜田作木線	島根県邑南町				7×3.7×3m 径1m	財政情報項 乗用車衝突1名死亡
	26	+						15 浜田作木線 島根県邑南町 2016/05/04 石英安山岩 転石型 径1m 乗用車衝突1名死亡 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
第 2 章	p.26	… <u>試錐機</u> の搬入…												
	下 6 行目													
密 2 斉	p.34	1、(九) 日本光的协会 ** 十小体 (年版 2000					1)(灶)日本诺吸协会,基工基签/压胜 2017							
第2章	参考文献	1)(社)日本道路協会;落石対策便覧,2000						1)(社)日本道路協会;落石対策便覧,2017						
	p.34	4) (財) 道路保全技術センター;						4) (財) 道路保全技術センター;						
第2章	参考文献	道路防災 <u>総点検</u> の手引き(豪雨・豪雪), 2007						道路防災点検の手引き(豪雨・豪雪), 2007						

章	page 行	誤	正					
第7章	p.147	図-7.1. <u>1</u>	図-7.2.1					
37 7 -	図-7.1.1	ES /. I. <u>r</u>	<u> </u>					
第7章	p.148	写真-7. 2. <u>1</u>	写真-7.2.2					
写真-7.2.								
第7章	p.150	写真-7. 2. <u>4</u>	写真-7.2.5					
	写真-7.2.4	32						
第7章	p.150	写真-7. 2. <u>5</u>	写真-7.2.6					
写真-7.2.5		7 ≠ 1. 2. <u>v</u>	<i>ਜੁਨ ।.</i> ∠. ∨					
第7章	p.150	写真-7. 2. <u>6</u>	写真-7.2.7					
77 平	写真-7.2.6	구유 1.2. <u>0</u>	与 与 与 1 · 2 · 1					
第7章	p.158	…約 20mm…	…約 10cm…					
	下1行目	··· #9 <u>20mm</u> ···	··· жу 10cm					
第7章	p.164	図-7.3.29	写真-7.3.10					
	下 4 行目	<u> </u>						
第8章	p.177	ま時、徳の仏聖による社製の可能吸収エネルギーの比較	表題:衝突位置による部材の可能吸収エネルギーの比較					
第 0 早	表-8.4.1	表題:衝突位置による <u>材料</u> の可能吸収エネルギーの比較						
你 0 本	p.182	2.6mm 3 本よりの	φ 2.6mm 3 本よりの					
第8章 下3行目		<u>2.0mm</u> 5 本よりの	φ 2.omm 3 本よりの					
第8章	p.183	2 大 の 2 (の 2 2 4 2 -	2 + 0 12 (n Mil úl 2					
	上3行目	3 本の <u>2.6mm</u> の鋼線を	3 本の φ 2.6mm の鋼線を					
第8章	p.186	図 0 7 0 の伝ぶ ナ - ^ _ > > 1 . 44) テキッ	₩ 0.7.0 の行は並ぶ、バの工場に投針					
	上1行目	図-8.7.8の行が本ページ上端にある	図−8. 7. 8 の行は前ページの下端に移動					
第8章	p.202							
	表-8.10.5	ワイヤ菱形金網の要素「ケーブル <u>「</u> 」	ワイヤ菱形金網の要素「ケーブル」					

章	page 行	誤	正			
第8章	p.202	「終局限界状態」	終局限界状態			
	上2行目	'於问似外依您				
第8章	p.202	左側寸法表記のズレ	左側寸法表記を正しい位置に移動			
	図-8.10.6	左側り伝表記のヘレ				
第8章	p.203	(d) CASE-4:支柱側部 <u>補足</u>	(d) CASE-4:支柱側部捕捉			
	図-8.10.7	(u) GASL-4:又任例即 <u>柵足</u>	(d) ONSE=4. 文任侧印册处			